

リーダーシップ・トレーナー(L・T) 出向員研修

第35期

今回の研修はコロナ明けの完全な対面実施となりました。仲間のみんなに会える事が毎回の研修でも楽しみで改めて「会える」ということの嬉しさ、大切さを実感した1年となりました。

この貴重な1年を共に過ごした仲間とのご縁、またこのLT研修で出会えた全ての人とのご縁に感謝し、この先も大切にしていきたいと思えます。

最後になりましたが、L・T研修に送り出して下さった支部の先生方、奈良青年部の皆様方貴重な経験をさせて頂き本当にありがとうございました。この経験を活かし今後の青年部活動も精進していきたいと思えます。

第35期L・T 奈良青年部 青木 香奈

第36期

2024年2月に開講式が行われ、全国から32名の出向員が集まりました。

青年研修会を兼ねた研修や、総本部から各研修では事前課題が出され、それぞれの班で課題について考えまとめたものを研修当日に発表していただきました。これらの研修を通して、青年部の現状把握から、今後の課題に関する取り組み方などを学んでいきました。

また総本部からの課題以外にも、自主的に毎月オンラインにて交流会・自主研修を行い、それぞれが学びたい事を共有したり、互いの青年部の近況などを話し合い、交友を深めるとともに自己研鑽にも励んでいきました。

第36期L・T 京都北青年部 若野 江里



2023年のあゆみ

2月4日	ブロック協議会	於..池坊短期大学
7月8日	ブロック交流会	於..京・貴船ひろや及び貴船神社周辺
10月28日 29日	ブロック研修会(奈良青年部 主管)	於..東大寺金鐘ホール・本坊
12月2日	ブロックナイト	於..ダニエルズアルバ

2024年のあゆみ

2月4日	ブロック協議会	於..京都市国際交流会館
2月6日	裏千家学生茶道研究会合同行事	於..京都市国際交流会館和風別館
5月25日 26日	ブロック研修会(京都四青年部連合会 主管)	於..北野天満宮および上七軒歌舞練場
6月29日 30日	青年茶人京都のつどい	於..今日庵周辺
8月3日	ブロック交流会	於..兵庫県香美町
11月17日	裏千家学生茶道研究会合同行事	於..清水焼の郷会館
11月30日	ブロックナイト	於..ダニエルズアルバ

編集後記

皆様のご協力のもと、同風を発刊できましたこと、心よりお礼申し上げます。

来期からは新体制となるため、小山ブロック長での体制は一区切りとなります。今期は、近年オンラインのみだった役員会を、年に数回、ブロック内の現地で行ったことで、より交流が深められました。また、6月に行われた全国行事「青年茶人京都のつどい」では、素晴らしい経験をさせていただきました。2年間ありがとうございました。来年も近畿第一ブロックをどうぞよろしくお願いたします。

広報委員長 京都南青年部 井口 香苗



QRコードからアクセス



近畿第一ブロック HP 近畿第一ブロック FB 近畿第一ブロック IG
機種や読み取りソフトによっては読み取れない場合があります。操作方法は、お使いの機種やソフトによって異なりますので取扱説明書等でご確認ください。

検索ボックスから検索

近畿第一ブロック

<https://chakai.com>



第32号
DOFU

同

風

機関誌命名 鵬雲斎大宗匠
題字揮毫 納屋宗淡師

同風 第32号
発行所 茶道裏千家淡交会青年部
近畿第一ブロック
発行人 ブロック長 小山元也
発行日 令和6年11月30日

茶道裏千家淡交会青年部
近畿第一ブロック



<https://chakai.com>



ブロック長挨拶

令和五年・六年度 ブロック長 小山 元也



「二盃から出会い、笑顔をつなげよう」のテーマのもと2年間ブロックの活動を行ってまいりました。ブロック役員はもとよりブロック内9つの青年部の出向者や会員の皆様には様々な場面でブロックにご協力とご参加をいただきました。

改めて御礼を申し上げます。

今期のブロックで力を注いだのは「集いの場をつくること」「地域の魅力に出会うこと」の2点でありました。役員会はオンライン会議を活用して効率化をはかるのに加えて、ブロック内各地でも開催させていただきました。役員に限定せず皆さんで参加する移動役員会は、他の青年部の活動地域にお邪魔すること、あるいは他の青年部の方々を出迎えるといった青年部を超えた出会いの機会になったのではないかと思いますし、何より、皆で出かける楽しさと、その地域を改めて知り学び味わう機会が大変有意義であったと確信しています。

また他ブロックのブロック研修会への参加も、全国各地の会員と出会い繋がることができ、各地の青年部活動を学び地元を活かす一助になったのではないかと思います。今後もブロックに参画すれば、ブロックが楽しい、そして更に青年部の活動も楽しい、そんな笑顔が連なっていく活動になるのではないかと期待いたします。2年間ありがとうございました。

青年部紹介

滋賀青年部 部長 大西 真澄

日本のほぼ真ん中に位置する滋賀県は、豊かな水と豊かな自然に恵まれ県土の約6分の1を占める日本最大の湖・琵琶湖を囲んで、竹生青年部(湖北、湖東エリア)比叡青年部(大津、湖西エリア)、水の郷青年部(甲賀、湖南エリア)の3つの青年部が一緒に活動しております。



奈良青年部部長 俵 裕史

奈良青年部は現在81名で活動しております。
 主な活動の内容は、奈良の神社やお寺、会館での小奇茶会をはじめ、講演会やモノ作り体験、美術館での鑑賞会等セミナーの開催です。
 また、今年からコロナ禍で中止が続いていた東大寺での献茶施茶席や、お盆に行われます大仏殿夜間参拝の呈茶席も再開されました。徐々にはありますが、コロナ禍以前の活動に戻ってきているように思います。
 また、奈良青年部には3つの班があり、会員はそれぞれどこかの班に所属しています。小奇茶会やセミナーなどの行事については、3つある班がそれぞれ担当する事で、よりたくさんの方の皆さまが行事に携われるようになっております。
 これからも、会員一人ひとりが色々なことを経験し勉強することが出来る青年部を目指して、日々活動していきます。
 これからも奈良青年部をよろしく願いいたします。



京都西青年部部長 岡野 真之

昨年度に引き続き「愉しく、たのしく、タノシク」をテーマに、2月は総会、6月は大雲院にて雲鶴茶会、9月は三者合同事業、10月は台風の影響で延期していた納涼会をそれぞれ開催することができ、通年で茶道セミナーを担っています。また別に会員相互の交流も様々な方たちで行うことができました。たくさんの方の笑顔を見ることが叶い、ここまでとても充実した青年部活動が展開できています。11月の茶会、12月の納会まで会員一同で存分に楽しみ切り、次年度によいかたちで引き継げればと考えています。



京都東青年部部長 初田 英人

京都東青年部は、本年度も2月の総会から始まり、5月には子ども茶道教室を京都四青年部連合会の主管として開催致しました。10月には研修会「金工体験(茶杓制作)」と、昨年好評を頂きました「電茶でGO」の第2弾、叡山電車にて叡電茶会を開催致しました。当日は秋晴れのもと叡電からの車窓と八瀬の風景を楽しんで頂きました。今期も会員の皆さんがたくさんの笑顔で青年部活動が出来ました。次期は役員改選となりますが引き続き楽しく笑顔で京都東らしく活動を行います。今後も京都東青年部をよろしく願い致します。



京都南青年部部長 塩竈 義晴

京都南青年部は令和6年度87名で活動をスタートいたしました。『ともに学び育ちあう』をテーマに、お茶に関する様々な活動を行い、会員相互の交流を通して、個人はもとより青年部全体の成長を目指しております。毎月の例会をはじめ、9月には組みひも体験や伊賀焼を学ぶ三者合同研修、10月には秋の高雄で納涼会・新入会員歓迎会、そして12月には納会および高台寺にて大寄せ茶会を開催予定です。引き続き、京都南青年部をどうぞよろしく願いいたします。



京都北青年部部長 宮本 悠介

今年も引き続き、活動テーマを「集う・楽しむ・感謝する」とし、2月の総会で活動スタートいたしました。
 4月は竹林での野点・BBQで盛り上がり、5月には東大寺献茶式添金のお手伝いをさせて頂き、参加者一同勉強させて頂きました。
 8月の納涼会では参加者一同、親睦を深め、9月の桂窯での作陶体験では、11月に開催する秋の茶会の茶碗を和氣満々と作り、有意義な時間を過ごさせて頂きました。
 10月の三者合同事業では叶匠寿庵の和菓子と源氏物語を学ぶ研修としまして、寿長生の郷と石山寺に伺いました。
 絶好の行楽日和となり、親先生と親睦を深めながら、勉強させて頂きました。
 11月には秋航茶会を、登録有形文化財である生谷家住宅で行いました。



おかげ様で満席御礼となりましたが、卒業会員にとりましては最後の青年部茶会です。皆様、様々な想いを込め、お客様を迎えられておりました。
 次年度は新しい役員体制、テーマで活動してまいりますので、今後とも京都北青年部を宜しくお願い申し上げます。

宮津青年部部長 塩見 愛美

宮津青年部は現在8名の部員で活動しております。今年度も支部行事の1つである三者合同茶会にて点心席を担当させて頂きました。「学びの秋」のテーマのもと準備を進め、当日は140名ほどの方に来ていただきました。限られた準備期間と人数のため、十分ではなかったかもしれませんが、次につながる形で終わることができたと思います。
 今後でもできる活動を模索しつつ、楽しみながら活動を続けていきたいです。



両丹青年部 部長 森野 友彦

少子高齢化、人口減少が囁かれる現在、両丹青年部も会員減少の波に飲まれ、26名での活動となっております。会員減少に加え、コロナ禍による活動自粛と思うような活動ができず、おりませんでした。ようやく総会、茶会、例会と以前のよくな活動ができるようになりました。

令和5年12月には、綾部市里山交流研修センターにおいて「里やまDX茶会」を開催しました。会員減少による人手不足をどう解消するかを相談し、映像を使った一席を設えました。里山というデジタル文化に程遠い場所において、DX(デジタルトランスフォーメーション)を取り入れた茶会で、来場された方々にも好評をいただき、今後の活動の励みとなりました。

これからも一人一人が活躍できる活動を目指して取り組んで参ります。



行事紹介

全国行事



青年茶人京都のつどい

6月30日小雨が降る朝、事前にオンラインにて顔合わせと自己紹介を行い、よそよそしさが上手く抜け、程よい緊張感の全国の仲間たちと、平成茶室での御家元席、若宗匠席のどちらか1席、裏千家学園と茶道研修会館での裏千家学園同窓会席の1席、滴水庵での志俱会席、生谷家住宅での修竹会席、ミリエームでの総本部知新会席、京菓子資料館での全国委員歴代正副役員席のうち1席の、計3席を歩いて巡りました。「青年部は手ぶらでおいで」と御家元がおっしゃった通り、各席主による青年部への思いのこもった設え、また先輩からは暖かい言葉もいただきました。何よりも平成茶室では、緊張した私たちを瞬時に笑顔へ導き、学びと気づきと感動の至れり尽くせりの貴重な経験をさせていただきました。改めて青年部と茶の湯の楽しさを再認識するとともに、今後の活動の糧となり、所属青年部を超えた同志の大きな輪が、和につ

但馬青年部 部長 井上 奈巳

但馬青年部は現在会員28名で活動しています。令和6年は但馬支部80周年但馬青年部60周年を記念して10月27日に丹心斎若宗匠様のご臨席を賜り記念大会を開催しました。この記念大会に合わせて中村正史さんに茶碗絵付け体験をご指導いただき「こうのとりに波」のデザインでお茶碗を作製。青年部席では但馬学校茶道連絡協議会の高校生の皆さんと一緒に約500名のお客様に青年部で作製したお茶碗でもてなしました。令和7年は役員改選の年です。会員減少など課題はありますが、また新たな気持ちで青年部活動を楽しみたいと思います。これからも但馬青年部をどうぞよろしくお願い申し上げます。



ブロック行事



ブロック研修会

令和六年度ブロック研修会は京都四青年部主幹にて、北野天満宮・上七軒歌舞練場寺にて開催させていただきました。スタッフとしては準備段階から、「あの歌舞練場」で事業が開催できると心躍らせながら取り組むことができましたが、ご参加いただいた皆様におかれまして、「京都」の雰囲気を感じていただけたことと思います。講演は中野宗剛業跡先生による裏千家の歴史のお話をいただきました。永き歴史を改めて知る良い機会だったのでないでしょうか。

オプショナルツアーは四青年部がそれぞれ企画した京都さんぽ、漆、古帛紗、聞香の体験をさせていただきました。夜はブロック間交流で遠方より多くお越しいただいた方々との交流をさせていただきました。前日に交流いただいたことで、式典会場でお話が盛り上がる様子を拜見できました。

研修委員会は2回にわたり全国の皆様との交流のお手伝いをさせていただきます。有難い経験をさせていただきました。「お茶」が楽しいものだと思います。これを機会に他ブロックにお出ましになったり、より深くお茶を学ぶ機会になれば、これほど嬉しいことはありません。二年間ありがとうございました！

研修委員長 京都東青年部 津田 陽輔

ブロック交流会

8月3日、但馬・香美町にて日本海を一望できる古民家を借り切り、参加者29名で開催致しました。34度を超える真夏日でしたが、波音とこちよい海風で北部の風情を感じて頂けたと思います。冷たく冷やした「葛まんじゅう」でのお呈茶、新鮮な日本海のお刺身、尾頭付きのノドグロ等、地元食材のお弁当を満喫頂きました。その後、円山応挙ゆかりの大乗寺へ移動し、各部屋をストーリーで結ぶ圧巻の襖絵を拝観し、香美町の色々な名産品のプレゼントを手を帰路にありがとうございました。遠方よりご参加いただきありがとうございました。

交流委員長 但馬青年部 榊原 司



研修委員 京都東青年部 仲本 仁江

6月29・30の両日、青年茶人京都のつどいに参加させていただきました。オプショナル研修会から始まり、交流会、翌日の茶会とそれぞれとも充実した2日間でした。ご宗家の皆様や業跡先生から直接ご指導いただいたり、お話を聞く事が出来る機会は大変貴重で、茶道を続けていて良かったと思えるかけがえのない時間でした。

事務局 京都東青年部 大下 尚平

ながることを感じる一日となりました。ご宗家の方々をはじめ、皆さまへ感謝申し上げます。



ブロックナイト

全国代表者会議に合わせて、ダニエルズアルバにてブロックナイトが行われました。ブロックナイトは青年部であれば誰でもご参加頂けます。

店の中もとても華やかにご準備頂き今回は12月という事で今年で青年部を卒業される方には、コングラチュレーションの襷をかけてくださいました。イタリ안의コースもとても美味しく何より、普段なかなかお会いできない、青年部の仲間同士が支部の垣根を超えて顔を合わせて、声を掛け合い、ホッととして、笑いながら談笑する、本当に心温まる素敵な時間でした。こんな清々しい、素敵なお縁がこれからも広がっていくと良いなと思います。

広報委員 奈良青年部 水野清慈

移動役員会

幹事長 京都東青年部

岡村加奈



今期からスタートした移動役員会は、滋賀・奈良・京都・北部と年に4回開催。それぞれの地域の魅力あふれるお菓子やお弁当、会場を現地青年部の皆さんに提案いただき、出向者役員だけに限らず、ブロック内青年部であれば誰でも参加できるように開催いたしました。

普段はオンラインで会えない分、移動の4回は積極的に交流を深め、全力で楽しんで参りました。各回、30人近く参加いただき、次の移動役員はと楽しみにしていただいている会員もおられます。

来期も同様に開催し、よりブロック内の友情を育めるよう交流会としての要素を強くし、会員拡大の機会にしていけるよう企画しております。引き続きご参加のほどよろしくお願いいたします！



ブロック協議会

2月4日、京都市国際交流会館で令和6年度ブロック協議会が行われました。中澤利之直前ブロック長の挨拶のあと議事に入り、初田英人議長進行のもと、令和5年度行事報告・収支報告、令和6年度の行事計画・収支予算が全会一致で承認されました。その後第36期L T 出向員である若野江里さん（京都北）から決意表明があり、続いて各青年部から報告が行われました。

協議会後の懇親会は田中俊幸相談役の乾杯の発声でスタート。盛りあがりの中、各委員会の報告も行われました。

広報委員長 京都南青年部 井口香苗



舞鶴

令和5年12月23日、舞鶴赤レンガパークにて役員会が催されました。呈茶・会議・昼食後、舞鶴港めぐり遊覧船では護衛艦や造船所などを船上から迫力ある角度で眺め、ガイドさんに説明を受けながらの赤レンガパーク見学では魚雷倉庫であった赤レンガパークの建物を歴史と共に学ばせて頂きました。また、お土産抽選会では「蟹」等豪華賞品もあり楽しんで頂きました。

移動役員会ならではの体験をし、学び多い一日でした。

総務委員長 京都北青年部 高木慶太

京都

七月に京都で行われた移動役員会で山鉾見学と菊水鉾のお茶席を体験してきました。当日は浴衣の参加者もあり、祇園祭らしく賑やかな役員会となりました。色々なイベントを企画していただきましたが、特に印象的だったのが菊水鉾のお茶席でした。山鉾の水指や菊の水次などの道具組も素晴らしいのですが、何よりお点前の美しさに感動しました。あのようなお点前ができるようになりたいという目標もでき、充実した一日になりました。

研修委員長 京都東青年部 津田陽輔

滋賀

はじめに琵琶湖近くの慶雲館の茶室で呈茶・会議があり、滋賀青年部の皆様の心のこもった一服をいただきました。続いて長浜港に移動して、竹生島見学に向かう船内でお弁当をいただきました。琵琶湖を眺めつつ、ブロックの仲間たちと語りながらの昼食はとても美味しいものでした。



裏研合同行事

令和5年度「裏研合同行事」として、令和6年2月に京都市国際交流会館にて菓子作り体験と茶席を実施しました。菓子作り講師として鍵甚良房さまをお招きし、練切作りを体験し、そのままお茶席で頂戴しました。また、桂窯さまでの作陶体験で学生さん達が作ったお茶碗も数多く登場し、個性的な作品に注目が集まりました。ひとつの行事をとともに作り上げることで、年齢や所属を越えて、深い繋がりを築くことができました。

学茶委員長 京都南青年部 塩竈義晴



竹生島上陸後は、ボランティアガイドの方の案内で宝厳寺や都久夫須麻神社を巡り、この日から特別にご開帳されていた宝厳寺観音堂のご本尊様も拝観しました。その後は慶雲館に戻って、国指定名勝の庭園や明治天皇皇后陛下をお迎えした玉座の間などを見学し、近くの黒壁スクエアの散策にも出かけ、長浜観光を楽しみました。

交流委員 京都東青年部 戸高直人

奈良

11月16日、奈良の総本山 長谷寺で行われ、30人近い青年部会員にご参加頂きました。ちょうど紅葉の時期で、また秋の特別拝観も行われている中、僧侶の宿坊で紅葉と秋の気配を感じながら、まずは一服頂きました。お菓子はお寺の門前町にある草餅。長谷寺のお土産も頂き、奈良青年部の皆さんのお心使いに感謝です。役員会の後は、奈良の郷土料理でもある、ほうじ茶粥が付いた茶粥御膳を頂きました。その後、僧侶のご案内で普段は入れない、長谷寺の菴藻庵というお茶室や、本堂の大きな観音様の真下のお部屋や建物をご案内頂き、大変貴重な経験になりました。

広報委員 奈良青年部 水野清慈